

令和 4 年度 確かな学力向上推進プラン

令和4年5月31日現在
江戸川区立上小岩第二小学校

学力向上に向けた目標値																			
成果指標：児童・生徒の学力学習状況調査の正答率										成果指標：全国学力・学習状況調査の正答率									
教科	平成30年度		平成31年度		平成31年度		令和2年度		令和2年度		令和3年度		令和3年度		令和4年度		令和4年度		
	結果		目標値		結果		目標値		結果		目標値		結果		目標値		結果		
国語	13問	69.30%	15問	70%	18問	63.90%	問	%	問	%	都平均値100%達成		問	%	四分位CD層の割合を都の割合と同程度に	全国C層 % 全国D層 %	本校C層 % 本校D層 %		
社会	16問	77.10%	18問	78%	18問	68.40%	問	実施せず	問	%	都平均値100%達成	実施せず	問	%	実施なし				
算数	16問	54.70%	18問	55%	26問	58.00%	問		問	%	都平均値100%達成		問	%	四分位CD層の割合を都の割合と同程度に	全国C層 % 全国D層 %	本校C層 % 本校D層 %		
理科	14問	73.60%	16問	74%	19問	60.20%	問	%	問	%	都平均値100%達成		問	%	四分位CD層の割合を都の割合と同程度に	全国C層 % 全国D層 %	本校C層 % 本校D層 %		

学力向上に向けた取組							
論点	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	成果指標及び数値目標
論点1 基礎的・基本的事項の定着	・朝のドリルタイムでベーシックドリルを使用 ・算数習熟度別指導 ・補習の時間及び放課後補習教室の実施 ・タブレット端末の活用	・朝のドリルタイムでベーシックドリルを使用 ・算数習熟度別指導 ・補習の時間及び放課後補習教室の実施 ・タブレット端末の活用	・朝のドリルタイムでベーシックドリルを使用 ・算数習熟度別指導 ・補習の時間及び放課後補習教室の実施 ・タブレット端末の活用	・朝のドリルタイムでベーシックドリルを使用 ・算数習熟度別指導 ・補習の時間及び放課後補習教室の実施 ・タブレット端末の活用	・朝のドリルタイムでベーシックドリルを使用 ・算数習熟度別指導 ・補習の時間及び放課後補習教室の実施 ・タブレット端末の活用	・朝のドリルタイムでベーシックドリルを使用 ・算数習熟度別指導 ・補習の時間及び放課後補習教室の実施 ・タブレット端末の活用	・ベーシックドリル診断テストでの各学年平均正答率70%以上 ・タブレット端末を一日一回以上活用
論点2 学習規律の徹底	・学習用具の整理整頓 ・授業の受け方（準備、姿勢保持、挨拶、挙手、返事、発言） ・ノート指導 ・タブレット端末使用時のきまり	・学習用具の整理整頓 ・授業の受け方（準備、姿勢保持、挨拶、挙手、返事、発言） ・ノート指導 ・タブレット端末使用時のきまり	・学習用具の整理整頓 ・授業の受け方 ・話す、聞く、話し合う ・ノート指導 ・タブレット端末使用時のきまり	・学習用具の整理整頓 ・授業の受け方 ・話す、聞く、話し合う ・ノート指導 ・タブレット端末使用時のきまり	・学習用具の整理整頓 ・学習の姿勢保持 ・発言や聞き方 ・ノート指導 ・タブレット端末使用時のきまり	・学習用具の整理整頓 ・学習の姿勢保持 ・発言や聞き方 ・ノート指導 ・タブレット端末使用時のきまり	・学習規律を守り、授業に自ら参加している。（児童アンケート） 肯定的意見80%以上。
論点3 生活習慣の確立	・「上二小生活のきまり」 ・「すすんであいさつしよう」の励行・啓発 ・上二小 SNS ルールを守ろうとする意識の醸成	・「上二小生活のきまり」 ・「すすんであいさつしよう」の励行・啓発 ・上二小 SNS ルールを守ろうとする意識の醸成	・「上二小生活のきまり」 ・「自主的なあいさつ」の励行・啓発 ・上二小 SNS ルールを守ろうとする意識の醸成	・「上二小生活のきまり」 ・「自主的なあいさつ」の励行・啓発 ・上二小 SNS ルールを守ろうとする意識の醸成	・「上二小生活のきまり」 ・「自主的なあいさつ」の励行・啓発 ・上二小 SNS ルールを守ろうとする意識の醸成	・「上二小生活のきまり」 ・「自主的なあいさつ」の励行・啓発 ・上二小 SNS ルールを守ろうとする意識の醸成	・「通話やメール、インターネット、ゲームをしている。」（児童アンケート） 2時間以上の割合10%以下。
論点4 家庭学習の指導の充実	・音読、漢字、計算を基本とした家庭学習の習慣化（学年×10分以上） ・eラーニングの利用	・音読、漢字、計算を基本とした家庭学習の習慣化（学年×10分以上） ・eラーニングの利用	・音読、漢字、計算を基本とした家庭学習の習慣化（学年×10分以上） ・eラーニングの利用	・音読、漢字、計算を基本とした家庭学習の習慣化（学年×10分以上） ・eラーニングの利用	・音読、漢字、計算を基本とした家庭学習の習慣化（学年×10分以上） ・eラーニングの利用	・音読、漢字、計算を基本とした家庭学習の習慣化（学年×10分以上） ・eラーニングの利用	・学校の授業時間以外に普段（月～金曜）、一日あたりどのくらいの時間勉強をしますか（全国学力調査） 30分未満の割合10%以下
論点5 言語に関する指導の充実	・算数学習等の振り返り ・さまざまな詩や文章の音読や暗唱の活動を設定する。	・算数学習等の振り返り ・さまざまな詩や文章の音読、暗唱の活動を設定する。	・算数学習等の振り返り ・ペア、小グループ学習の日常的な実施 ・さまざまな詩や文章の音読、暗唱の活動を設定する。	・算数学習等の振り返り ・ペア、小グループ学習の日常的な実施 ・つなが言葉 話の構成 自分の考えとの比較 質問 司会	・算数学習等の振り返り ・ペア、小グループ学習の日常的な実施 ・話の構成 引用 敬語 事実・感想・意見の区別 自分の考えとの比較	・各教科で学習の振り返り ・話の構成 引用 敬語 事実・感想・意見の区別 自分の考えとの比較	・「国語では目的に応じて自分の考えを話したり書いたりしている」（全国学力調査） 肯定的な回答60%以上。
論点6 教員の学習指導力向上	・教材研究 ・ICT 機器の活用 ・校内研修会の実施 ・区小研・教育課程推進校発表会等への参加	・教材研究 ・ICT 機器の活用 ・校内研修会の実施 ・区小研・教育課程推進校発表会等への参加	・教材研究 ・ICT 機器の活用 ・校内研修会の実施 ・区小研・教育課程推進校発表会等への参加	・教材研究 ・ICT 機器の活用 ・校内研修会の実施 ・区小研・教育課程推進校発表会等への参加	・教材研究 ・ICT 機器の活用 ・校内研修会の実施 ・区小研・教育課程推進校発表会等への参加	・教材研究 ・ICT 機器の活用 ・校内研修会の実施 ・区小研・教育課程推進校発表会等への参加	・「学校の授業について『楽しい、わかりやすい』と言っている。」（保護者アンケート） 肯定的な回答80%以上。

教科	各教科の授業改善に向けた指導の重点					
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
国語	・音読を授業の中で大切にすることで、言葉の理解を深めたり、語彙を増やしたり、豊かに表現できるようにする。 ・ひらがな、カタカナ、漢字の反復練習をして定着を図る。	・自分と友達の思いや考えを共有する場を設けることで、伝え合う力を高める。 ・文字の反復練習をすることで、筆順に従って正しく書けるようにする。	・音読や漢字の練習に毎日取り組むことで、基本の定着を図る。 ・筋道を立てて考える力や豊かに表現する力を養い、自分の考えを文章でまとめることができるようにする。	・音読や漢字の練習に毎日取り組むことで、基本の定着を図る。 ・筋道を立てて考える力や豊かに表現する力を養い、自分の考えを文章でまとめることができるようにする	・筋道を立てて考える力や豊かに表現する力を養い、自分の考えや出来事、調べた内容などを新聞や紹介文でまとめることができるようにする。	・筋道を立てて考える力や豊かに表現する力を養い、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
社会			・調査活動や各種の具体的な資料を通して必要な情報を調べ、まとめる技能を養う。	・地図に親しみ、グラフなどの思慮を読み取る力を育成する。 ・東京都の特色ある地形や土地の利用を理解する。	・日本の国土の地理的環境や産業（農水産業・工業・情報産業）の特色について、地図や統計資料を読み取る中で理解する。	・歴史、政治、経済について複数の資料から読み取り比較して考える。
算数	・10までの数の構成、加法、減法を重点的に反復練習することで、定着を図る。 ・具体物や具体的な操作を通して、自分の考えをもつことができるようにする。	・2桁の加法と減法、かけ算などの基本的な計算を重点的に繰り返し練習し、定着を図る。 ・対話的な学習を取り入れることで、自分の考えたことを表現できるようにする。	・計算や測定などの技法の定着を図る。 ・対話的な学習を取り入れることで、自分の考えたことを表現し、伝えることができるようにする。	・除法の筆算の習熟を図る。 ・交流の場で自分と友達の考えを比べることで、数学的な見方、考え方を養う。	・整数、小数、分数の基本的な計算の技能の定着を図る。 ・交流の場で自分と友達の考えを比べることで、解決の過程や結果を多面的にとらえ、考察する力を養う。	・整数、小数、分数の基本的な計算の技能の定着を図る。 ・交流の場で目的に応じた多様な表現方法を用いながら考察する力を養う。
理科			・自然に親しみ、生活体験を生かして、見通しをもって観察、実験を行う手立てをする。	・実験や観察において、理科的な見方考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行う場面を設定する。	・実験の条件を制御しながら、実験計画を立てたり、結果を考察したりする力を高める手立てをとる。	・実験の条件を制御しながら、実験計画を立てたり、結果を考察したりする力を高める手立てをとる。
生活	・活動や体験を通して生活上必要な習慣や技能を身に付け、身近な人々、社会、及び自然を自分との関わりの中で捉え、意欲や自信をもって学ぼうとする態度を育てる。	・活動や体験を通して生活上必要な習慣や技能を身に付け、身近な人々、社会、及び自然を自分との関わりの中で捉え、意欲や自信をもって学ぼうとする態度を育てる。				
音楽	・歌や器楽の演奏を通して、身体を使いながらリズムを感じ音楽に親しむ態度を育てる。	・歌や器楽の演奏を通して、身体を使いながらリズムを感じ音楽に親しむ態度を育てる。	・基本的なリコーダーの演奏方法を理解させる。歌唱や器楽を通して様々な音楽に親しむ態度を育て表現させる。	・進んで音楽に関わり、歌唱や器楽を通して様々な音楽に親しむ態度を育て表現させる。	・主体的に音楽に親しみ歌唱や器楽で豊かに表現させる。音楽を形成する要素や楽曲のもつ特徴を捉えて鑑賞させる。	・主体的に音楽に親しみ歌唱や器楽で豊かに表現させる。音楽を形成する要素や楽曲のもつ特徴を捉えて鑑賞させる。
図画 工作	・簡単な道具や身の回りの材料を使い、自分の思いを表現することができるようにする。	・簡単な道具や身の回りの材料を使い、自分の思いを表現することができるようにする。	・手や体全体の感覚などを働かせ、材料や用具を使い、表し方を工夫して創造的につくったり表したりすることができるようにする。	・手や体全体の感覚などを働かせ、材料や用具を使い、表し方を工夫して創造的につくったり表したりすることができるようにする。	・材料や用具を活用し、表し方などを工夫して創造的につくったり表したりすることができるようにする。	・材料や用具を活用し、表し方などを工夫して創造的につくったり表したりすることができるようにする。
家庭					・衣食住や家族や家庭生活についての基礎的基本的な知識や技能を身につけ、自分のできることを進んで行う態度を養う。	・衣食住や家族や家庭生活について、既習事項を活用し、自らの生活をより良くしようとする態度を養う。
体育	・各種の運動遊びの楽しさに触れ、基本的な動きを身につけることができるようにする。	・各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り、友達と仲良く運動したり、安全に留意したりできるようにする。	・各種の運動の楽しさや喜びに触れ、基本的な動きや技能を身につけることができるようにする。	・各種の運動の楽しさや喜びに触れ、基本的な動きを身につけるとともに、より良い方法を考え、伝えることができるようにする。	・各種の運動の楽しさや喜びに触れ、自己の課題を見つけ、その解決のために活動を工夫したり、友達と助言しあったりして技能を身につけようとする。	・各種の運動の楽しさや喜びに触れ、自己の課題を見つけ、その解決のために活動を工夫したり、友達と助言しあったりして技能を身につけようとする。